

複数の職種及び作業に係る技能実習を行わせる理由書

作成日 20××年 ○○月 ○○日

申請者(実習実施者): 機構株式会社

①技能実習の内容	主たる職種・作業	コード番号(4-9-1) 職種名(そう菜製造業) 作業名(そう菜加工作業)
	従たる職種・作業	コード番号(4-2-1) 職種名(食鳥処理加工業) 作業名(食鳥処理加工作業)
		コード番号() 職種名() 作業名()
②それぞれの職種及び作業に係る技能等が相互に関連している理由	当社では、同一敷地内の第1工場でそう菜製造業を、第2工場で食鳥処理加工業を行っている。	
	そう菜製造業と食鳥処理加工業は、いずれも食料品を製造する一工程という点で共通しており、そう菜の加工や食鳥の処理に当たっては、衛生管理作業が行われることが必要である。	
	当社は、自社で処理した新鮮な鶏肉を○時間以内にそう菜に加工しており、そう菜製造と食鳥処理加工の技能は、当社では一連の工程と理解して従業員の教育を行っている。	
③複数の職種及び作業に係る技能実習を行う合理的な理由	当社の日本人従業員は、業務の状況に応じて第1工場と第2工場のいずれの業務にも従事することが予定されており、多能工として活躍をしている。	
	そう菜製造業と食鳥処理加工業に共通の衛生管理作業を中心として、食鳥処理や生鮮肉管理の作業や、惣菜の下処理や調理の作業を多能工として身に付けることにより、母国に技能を持ち帰った際に、より活用することができる技能等が修得できる。	
	当社の持つ、新鮮な鶏肉を○時間以内にそう菜に加工し、美味しいそう菜を一連の工程の中で生産する技能を、技能実習生の母国に移転したいと考えている。	

(注意)

①欄には、技能実習計画認定申請書(省令様式第1号)第2面技能実習計画5欄の技能実習の内容と同一の記載とすること。